

DECISION

Request No.: 07

Protest and Request for Redress

Event: 第73回中国学生ヨット選手権大会 兼 第88回全日本学生ヨット選手権大会中国水域予選 2023 Chugoku Intercollegiate Sailing Championship Race Number: 6
Hearing Schedule: 2023-10-01

PARTIES AND WITNESSES

Request No.: 07: スナイブ - 30006 - 昂樹 松下

スナイブ - 31305 - 広島大学 - 亮 平田

VALIDITY

Objection to Jury: No

Within Time Limit: Within Time Limit

Incident Identified: Yes

Proper Hail: Protest hailed

Red Flag Displayed: Not required

Decision: Request Valid

PROCEDURAL MATTERS

FACTS FOUND

風速は14ノット、波はほとんどなかった。

30006はスターボード・タックのクロス・ホールドで第1マークをフェッチングしていた。

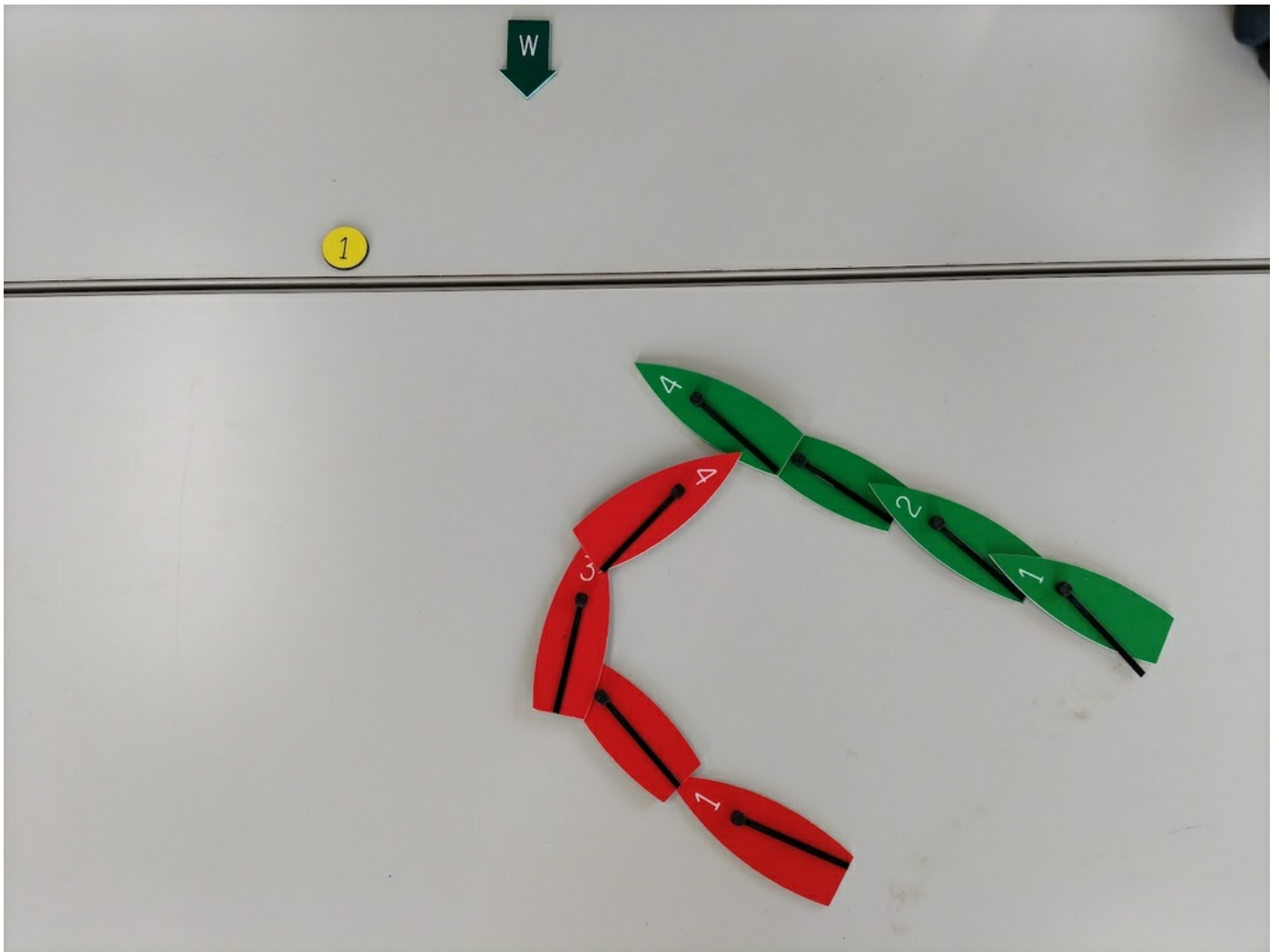
30006が第1マークまで約2艇身となったとき、30006の風下側1.5艇身の距離をスターボードタックで帆走していた31305がタックしてポート・タックのクロスホールドより10度ベア・アウェイした角度になったときに30006のポート側の中央部よりもやや後方にバウから衝突した。

このとき、30006は直進していた。

その後、31305は2回転ペナルティーを履行した。

この衝突により、30006のポート側ハルの中央部よりもやや後方部分、2層構造のうちの1層目に15cmくらいの亀裂が入り、2層目も損傷したが、水が染み込む程度で、浸水まではしなかった。

その後、30006はコースを帆走しフィニッシュ・ラインを通過した。



見取り図.JPG 71.4 KB

Diagram: Protest Committee diagram attached

CONCLUSIONS AND RULES THAT APPLY

Rules: 10, 14

ポート・タックの31305はスターボード・タックの30006を避けていなかったため、規則10に違反し、接触を回避しなかったため規則14にも違反した。

その後、31305は2回転ペナルティーを履行したが、30005に重大な損傷を引き起こしたため、規則44.1(b)に基づく適切なペナルティーを履行していない。

30006は相手艇が避けていないことが明らかになってから接触を回避することは常識的に可能ではなかったため規則14に違反していない。

30006は31305の行動により被った物理的損傷により、得点または順位が明らかに悪くなったとは認められないため、救済要求の要件を満たしていない。

DECISION

31305を第6Rにおいて失格とする。
30006に救済を与えない。

Date & Time: 2023-10-01 16:27 JST

PROTEST COMMITTEE

Committee Type: Protest Committee

Chaired By: Hirofumi Fujii (JPN)

Committee Members: Yukiharu Kaneda (JPN), Keiji Kato (JPN)